



喜界中だより

校訓 志 創 錬

2月号

(住所)

〒891-6202 喜界町湾1775番地 TEL 65-0026 FAX 65-0058

方言文化の継承

校長 藤原 隆哉

2月初旬、NHK朝のニュース番組の中で「方言消滅の危機」に関する特集がありました。番組内では、関東地方の一部を除けば、近い将来、方言が消滅してしまう可能性が高いとのことでした。原因としては、若い世代ほどメディアの影響で共通語が浸透していること、地方の都市部への人口流出による過疎化の進行等が挙げられていました。

古い資料ですが、平成21年2月にユネスコ（国連教育科学文化機関）が発表した“Atlas of the World's Languages in Danger”では、日本国内にある8言語が消滅の危機にあると記されています。喜界島のシマゆみたも下記の奄美語に含まれているようです。

【極めて深刻】アイヌ語

【重大な危機】八重山語、与那国語

【危険】八丈語、奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語

※ ユネスコでは、「言語」と「方言」の区別はなく、全て「言語」で表記されています。

消滅の危機が警鐘されてから、既に15年が経過していますが、国や地方公共団体、各研究機関では、聞き取りによる記録やAI技術を活用した保存活動などの取組が行われています。

喜界町では、島の文化や方言継承活動の一環として、町教育委員会が主催して、「シマ唄・シマゆみた発表会」が毎年開催されています。本年度は、2月8日（土）に本校体育館にて実施されました。

本校の関係では、シマ唄部門で宮本麗菜さんが「塩道長浜節」、久原奈子さんが「曲がりよ高頂」を発表してくれました。二人に、島唄の魅力を尋ねると、「島唄は昔から、歌い継がれてきた大切な文化だと思います。これからも島唄の伝統を守り、受け継いでいきたいです。」と応えてくれました。

次に、シマゆみた部門では、1年生が総合的な学習「きかい学」の学びを活かした方言劇「ムチャカナ物語」を発表してくれました。前半は、シマゆみたによる劇、後半は「むちゃ加那節」を発表しました。ムチャカナ役を演じた相良香乃さんは、「物語の内容は、小学校時代にムチャカナ節を教えてもらい、少しは理解していたけど、登場人物の背景などあらためて学ぶことができました。シマゆみたを話すことができる人は年々少なくなるので、自分でも学んでいきたい。」と話してくれました。さらに、今回は特別企画部門として、「チームゆみたもり」の皆さんによる創作狂言「ひなた山」がありました。メンバーの一員として出演されたALTのトモ先生によると、昨年6月から稽古がスタートし、京都から招いた狂言師の方に指導していただいたそうです。シマゆみたを覚えること、狂言独特の発声や所作は、とても難しかったそうですが、「皆さんに喜んでもらえて本当に良かったです」と、笑顔で話してくれました。

今回の発表会では、上記以外にも、喜界小学校3年生が言葉が異なること10の地域のシマゆみたを発表し、早町小学校3・4年生の三味線や太鼓の演奏を交えながら、シマ唄を発表してくれました。多くの子ども達が、喜界島の言語・文化にふれる機会として、この発表会はとても有意義な場であることをあらためて実感しました。そして、会場にお越しくくださった地域の皆さんの熱い思いがあれば、シマ唄・シマゆみたは、50年先、100年先まで継続できると強く感じました。方言は地域の宝です。喜界中学校では、今後も継承活動に取り組んでまいります。



皆さんの熱い思いがあれば、シマ唄・シマゆみたは、50年先、100年先まで継続できると強く感じました。方言は地域の宝です。

授業参観，学年・学級PTAお疲れさまでした

2月19日は1・2年生の授業参観及び学年・学級PTAが行われました。出席率が80%を超える多くのご参加，ありがとうございました。授業参観ではお子様の授業に取り組む様子を参観いただきました。真剣に授業に取り組んでいたでしょうか。学年PTAでは学習面・生活面・進路関係を中心に学年の実態や報告等の話があったと思います。2年生では生徒が作った職業新聞も配布されていたようです。将来の道しるべに必ず役立つと思います。1年生では修学旅行の説明が行われました。子どもたちが旅行に参加するのですが，保護者の方々の説明を聞く時の笑顔が印象的でした。



共通した内容は昨今の課題である「スマホ等の使い方と家庭内ルールについて」でした。現状報告や意見交換が行われました。見えない場所（監督が行き届かない環境）での端末の扱いについては親子で十分に再確認をお願いいたします。

町防災フィールドスクール ～喜界町の防災を考える～

2月25日，本校1,2年生は喜界高校に移動して，喜界高校生と一緒に「地震と津波避難を考える講演会」に参加しました。鹿児島大学生の「地震・津波災害にかかわる避難環境」の発表，名瀬測候所の阿見隆之地域防災官の「地震や津波を知り，身を守る行動（方法）」についての話を聞きました。

ここ喜界島での災害に対する判断力を高めることはとても重要なことです。地震発生から確実に自分の命を守ることにについて，真剣に考える機会になったと思います。

今日、測候所から皆さんに伝えたいこと

- ☆ 地震・津波発生後は、数分で様々な情報が発表される
- ☆ 緊急地震速報を見聞したら、
「周りの人に声をかけながら、あわてず、まず身の安全を」
(身の安全を守る方法は、一つではない！)
- ☆ 津波警報等を見聞したら、
「すぐにより高いところへ避難し、海に近づかない」
(大津波警報「巨大」は非常事態！**すぐ行動を！**)
- ☆ 日ごろのイメージや訓練で、
災害から、自分と大事な人の命を守れるようになるよう、
避難場所、避難ルートを「防災マップ」で確認！

”リフレーミング”って素晴らしい～短所を長所に変えてみよう～

今月は保健室横にリフレーミングについて掲示されていました。リフレーミングとは、『ものの考え方を変えて、違う枠組み（フレーム）で物事をとらえようとする』ことです。

コップに半分入った水を、「残りわずか」ととらえるのか、「まだたくさん残っている」ととらえるのかで、気の持ちようが変わります。自分では短所や欠点だと思っていることでも、見方を変えれば、それがあなたの長所になるかもしれません。例えば「優柔不断」→「最良を求め、じっくり考える」などです。

前向きになりたいとき、自分に自信を持ちたいとき、苦手なことに向き合うときにぜひリフレーミングを使ってみてください。



PTA奉仕作業～素晴らしい環境になりました～

2月23日は3連休の中日にも関わらず，本校奉仕作業に参加していただき誠にありがとうございました。卒業式を来月に控えるなか，とても綺麗な学校環境になりました。今後とも本校の教育活動へのご協力よろしくをお願いいたします。

3月の行事

<p>3月 5日（水）公立高校一般入学者選抜1日目 喜界高校学力到達度テスト1日目</p> <p>6日（木）公立高校一般入学者選抜2日目 喜界高校学力到達度テスト2日目</p> <p>7日（金）クラスマッチ</p> <p>10日（月）卒業式予行</p> <p>11日（火）卒業式準備，東日本大震災の日</p> <p>12日（水）第13回卒業式</p> <p>13日（木）公立高校合格者発表</p>	<p>14日（金）高校生による合格体験発表</p> <p>16日（日）家庭の日・ふるさと美化活動</p> <p>18日（火）全校朝会</p> <p>20日（祝）春分の日</p> <p>21日（金）校内美化作業⑥</p> <p>25日（月）修了式・大掃除・辞任式 PTA送別会</p> <p>26日（火）学年末休業～3/31</p>
--	---

